

## 白子水耕温室組合さんのネギ出荷場(新設)稼動順調です！

今号はネギ出荷場の話題です。千葉県長生郡の白子水耕温室組合(小高信彦組合長)では、昭和55年(1980年)から水耕でネギを生産されており、地名をつけた「長生(ながいき)ネギ」のブランドで知れ渡っています。7軒の生産者で構成され栽培規模16,000坪にもなる一大産地です。ご承知のようにネギは出荷調整作業手間がかかり、これだけの規模になると、なおさら大変な作業でした。この工程の集約化、合理化は長年のテーマでしたが、この度共同出荷場を建設され、稼動が開始されました。下葉取のスパトルから計量、結束までをコンベア

でつないだライン構成をとられており、このラインが3ライン設置されています。今回の施設で一番悩まれたのが、結束工程だったそうです。従来から写真でみるように下端をテープ巻き荷姿にしての出荷で、これをやめることも検討されたのですが、市場からの強い要望もあって、従来通りテープ巻きを踏襲することになったのですが、結束機のいいのがなかなかなくて、採用された機械はドイツ製と、苦勞したところだとおっしゃっておられました。結果的には1ラインに2台ずつの結束機を配置した構成で運営されています。結束されたものは、次工

程で袋詰め用の包装機を通り、箱詰め、出荷の段取りです。またユニークなところは、この出荷場を委託業者運営とされているところです。1束 円の処理費での契約で、パートさんの手配などを含めて、運業者が担当されているとのこと。JAなどが運営する共同出荷のシステムは、たくさんありますが、1生産者組合が、単独で運営し、その運営を業者委託する。他にあまり例のない先進の取組みだと感心させられました。白子水耕温室組合さんの今後の益々のご発展を心からお祈りいたしております。

(担当 神谷高裕)



下葉取スパトル



計量、結束ライン



自動包装機



テープ巻き機



小高組合長



テープ巻き荷姿



出荷荷姿

M式水耕の夏季休暇  
8月13日(金)~16日(月)

左記の期間お休みをさせていただきます。ご用命はお早めをお願いいたします。15日を除いた3日間は午前8時半から午後1時まで緊急時電話対応いたします。